

令和8年度 学校経営方針

鎌ヶ谷市立第四中学校

- 1 校訓 自ら 

2 学校教育目標

意欲的に学び 礼節をわきまえ 自他を大切にする生徒の育成

3 目標とする生徒像

- (1) めあてをもって学習に取り組む生徒
- (2) 挨拶や場に応じた言葉づかいのできる生徒
- (3) 人の痛みや周りの状況を考えられる生徒

4 理想とする教師像

「温かくも厳しく、厳しくも温かく」

- (1) 質の高い授業を目指し、互いに高め合う教師 【生徒に主体性を】
- (2) 優しさと厳しさを持って、粘り強く生徒に寄り添う教師 【失敗→素晴らしい経験として】
- (3) 高い人権意識を持ち、人として尊敬される教師 【憧れられる人へ】

5 学校経営方針と重点

- (1) 生徒指導の充実（生徒指導提要の活用）
 - ・正しいことをきちんと指導するとともに教師から進んで声掛けをする。
 - ・生徒との良好な関係を作りながら、保護者との連携も大切にする。
 - ・教職員間の情報共有を適切に行うとともに組織で対応する。
- (2) 心の教育の充実（SOS の出し方教育の推進）
 - ・道徳の授業だけでなく日常生活の中でこそ人権意識や道徳的価値観を高める。
 - ・教育相談の日常化を図り、生徒の悩みや問題の早期発見に努める。
 - ・生徒に寄り添いその気持ちを理解することで、個に応じた支援の充実を図る。
- (3) 学びの充実（主体性と自己有用感の育成）
 - ・生徒の実態に応じた「わかる授業」の実践に努める。
 - ・授業相互参観や教科部会の定例化を中心に教師の指導力向上に努める。
 - ・個別最適な学習ならびに協働的な学習を研修の柱に据える。
- (4) 特別支援教育の推進（誰一人取り残さない多様なニーズへの対応）
 - ・生徒の個性を理解し、その特性に合った指導助言を心掛ける。
 - ・担任と特別支援コーディネーター等との連携を強化し、組織で対応する。
 - ・ユニバーサルデザインを意識した教室環境づくりを行う。
- (5) 働き方改革の推進（ノー残業デーの確立）
 - ・職員の意識改革をより進める。
 - ・適切な校務分掌や会議の精選等、業務の縮減を進める。
 - ・職員の心身の健康保持と家庭生活充実のための時間を確保する。
- (6) 危機管理の徹底（危機管理のさしすせそ）
 - ・職員の人権意識を高揚させるとともに法令遵守を徹底する。
 - ・先を見越した行動や判断を大事にし、管理職への報告・連絡・相談を徹底する。
 - ・事件事故、問題行動発生時の迅速かつ誠意ある初期対応を心掛ける。
- (7) 不祥事の根絶
 - ・教職員のコンプライアンス意識向上の徹底（勤務時間を問わず、地域の信頼のため）
 - ・教職員全員が組織的・主体的に不祥事根絶に向けて取り組む職場風土の確立
 - ・生徒の尊厳（人権）を守る指導支援（自己指導能力）を推進する校内体制の整備